

2023年2月27日

株式会社三菱UFJ銀行

株式会社アストロスケールホールディングスへの出資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、今般、宇宙デブリの除去をはじめとした、軌道上サービス事業に取り組む株式会社アストロスケールホールディングス（創業者兼 CEO おかだ みつのぶ 岡田 光信、以下 アストロスケールホールディングス）に出資しました。本出資を通じて、宇宙の持続可能性（スペースサステナビリティ）の実現に貢献してまいります。

宇宙産業の市場規模は、2021年時点で44兆円、2030年には76兆円に達する見通し^[1]であり、世界で最も成長する産業の一つです。今後、人工衛星を通じた通信や測位、地球観測データの利活用はさらに幅広い分野で拡大していくことが想定され、さまざまな社会課題の解決に貢献することが期待されています。一方で、宇宙デブリは年々増加の一途を辿っており、宇宙の持続可能な開発に深刻な影響を与えています。

アストロスケールホールディングスは、宇宙デブリの除去をはじめとした、軌道上サービス事業（以下 本事業）を担うグローバルでトップランナーの企業です。日本だけでなく、イギリス、アメリカなどの政府機関とも連携し、宇宙デブリの除去におけるルールメイキングを行っていることに加え、将来的に「宇宙の持続可能性（スペースサステナビリティ）」を実現すべく、宇宙空間のインフラとして本事業の商用化を目指しております。当行は、本出資に伴うパートナーシップのもと、当行の有する幅広いネットワークや総合金融サービスの知見・ノウハウの提供などにより、アストロスケールホールディングスの事業価値の向上と宇宙産業の課題解決に貢献します。また、宇宙産業を支える本事業に出資することで、衛星開発企業をはじめとする宇宙関連事業者など、さまざまなプレイヤーとの連携を進め、新たな産業クラスターの創出を目指してまいります。

当行は、「お客さまと事業リスクを共にし、社会課題の解決に向けた新産業を創出」する事業共創に取り組んでおります。本出資は、宇宙領域におけるスペースワン社に続く、事業共創投資の第二弾であり、今後、衛星データ利活用や探査領域の拡大による社会課題解決などに向けて、産官学連携を含めたオープンイノベーションを促進し、我が国の産業発展に貢献してまいります。

【アストロスケールホールディングスの概要】

正式名称	株式会社アストロスケールホールディングス
代表者	岡田 光信
所在地	東京都墨田区錦糸 1-16-4
設立	2013年5月
事業内容	宇宙デブリ除去を始めとした軌道上サービスの提供

[1] 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社による試算